

総務教育常任委員会視察研修

総務教育常任委員会は以下の内容について調査するために12月16日に宮城県富谷市を、17日に宮城県栗原市と加美町を視察しました。

宮城県富谷市～移住定住に関する取組についての視察～

富谷市は①暮らしを自慢できるまち！②教育と子育て環境を誇るまち！③元気で温かい心で支えるまち！④市民の思いを協働でつくるまち！の基本方針のもと、「住みたくなるまち日本一」の実現を目指してまちづくりに取り組んでいます。大東建託株式会社が発表した住み続けたい街ランキング2025で5年連続東北第1位、街の住みこちランキング2025で6年連続東北第1位を獲得するなど、自治体評価ランキングで軒並み高評価を受けています。また国立社会保障・人口問題研究所が平成30年に発表した将来人口推計では、東北6県の中で唯一、2045年ま

で人口増加を続ける都市とされました。



富谷市視察研修

宮城県栗原市～移住定住に関する取組についての視察～

栗原市は暮らし・仕事・交流全般で移住希望者を支援しています。取組の1つに「くりはら移住定住コンシェルジュ」があります。先輩移住者等がコンシェルジュ（相談役）として活動しており、移住相談や情報発信を行っています。移住希望者は実際の生活を生の声から知ることができます。また市では、SNSを使い市の魅力を伝えるなど、情報発信にも力を入れています。



栗原市視察研修

国立音楽院宮城キャンパス（宮城県加美町）～廃校舎の利活用に関する取組についての視察～

加美町では廃校となった旧上多田川小学校について、平成25年に跡地利活用検討委員会を設置し地域住民の意見を傾聴するなどして、福祉施設、交流・教育施設、コミュニティ施設を複合的に組み合わせ、まちづくりへの寄与・周辺との調和、コミュニティへの貢献を考慮した活用を進めることにしました。平成27年に株式会社国立音楽院より地方創生に関する「音楽と福祉」の構想の提案があり、視察や住民説明会を経て平成29年4月に開校しました。音楽の夢を志す者が全国から集まり、日々、管楽器の修理や弦楽器製作、音楽療法などの技術習得に励むほか、地域住民との交流も積極的に行われています。



施設内での視察研修
←



施設外観
→